

宮城県感染症発生動向調査情報

令和元年8月29日発行

2019.8.19～2019.8.25 第34週

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市 患者数	患者数	累計	第31週	第32週	第33週	第34週
水痘	1 0.25	3 0.30	1 0.20			1 0.20		15 0.56	21 0.36	1,017				
流行性耳下腺炎							1 0.50	3 0.11	4 0.07	178				
感染性胃腸炎	8 2.00	24 2.40	3 0.60	7 3.50	5 1.67	2 0.40		90 3.33	139 2.40	10,677	◎	◎	◎	◎
手足口病	41 10.25	64 6.40	49 9.80	10 5.00	29 9.67	54 10.80	30 15.00	225 8.33	502 8.66	7,901	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	3 0.75	1 0.10	4 0.80	1 0.50		8 1.60		1 0.04	18 0.31	2,714	○	レ		
突発性発しん	1 0.25	1 0.10	4 0.80	2 1.00	2 0.67	2 0.20		8 0.30	19 0.33	967	レ	○	レ	
ヘルパンギーナ	8 2.00	10 1.00	17 3.40	4 2.00	14 4.67	9 1.80	1 0.50	18 0.67	81 1.40	1,071	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ								2 0.05	2 0.02	30,409				
咽頭結膜熱		4 0.40			2 0.67			6 0.22	12 0.21	553				
流行性角結膜炎								5 0.83	5 0.42	102				
急性出血性結膜炎									0 0.00	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7 1.75	7 0.70	5 1.00	3 1.50	4 1.33	37 7.40		19 0.70	82 1.41	6,288	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	2				
マイコプラズマ肺炎				2 2.00			2 2.00		4 0.33	128				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	12 3.00	7 0.70	3 0.60	1 0.50	2 0.67	3 0.60	2 1.00	55 2.04	85 1.47	1,383	◎	◎	○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	32				
拡張 疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	1				2	4					
	川崎病								2		◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	不明発しん症		1						4					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

栗原管内 女性1名(第32週)
結核(無症状病原体保有者)
大崎管内 女性1名
栗原管内 女性1名
仙台管内 男性2名、女性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

大崎管内 女性1名
仙台管内 男性3名

4類感染症: デング熱

仙台管内 女性1名(推定感染地域: 国外)
レジオネラ症
仙南管内 男性1名

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

仙台管内 男性1名
梅毒
仙台管内 男性1名(第33週)、男性1名
百日咳
石巻管内 女性1名
塩釜管内 男性1名
仙台管内 男性1名(第32週)、女性2名、
男児1名*、女児2名*

※男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]
すべての管内で警報レベルを継続中です。
[伝染性紅斑]
石巻管内で警報レベルを継続中です。
[ヘルパンギーナ]
大崎、栗原、登米管内で警報レベルを継続中です。
[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
石巻管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第31週採取分 (7.29～8.4)	第32週採取分 (8.5～8.11)	第33週採取分 (8.12～8.18)
インフルエンザウイルスB型(ヒケリア系統)	0件	1件	0件
RSウイルス	9件	5件	3件
ヒトメタニューモウイルス	0件	0件	1件
ライノウイルス	1件	1件	0件
サイトメガロウイルス	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス2型	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	1件	0件	0件

4. 今週のコメント

【百日咳】

百日咳は、長引く臨床症状とけいれん性の咳発作を特徴とする急性気道感染症です。平成30年1月1日より五類感染症の全数把握疾患となりました。今週も患者報告があり、今年の患者報告数は79人となっています。感染力が強く、患者の咳に含まれる飛沫との接触で容易に感染します。乳児では無呼吸、呼吸困難などを引き起こして重症化しやすいため、特に注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効とされており、現在は、百日咳ワクチンを含むDPT三種混合あるいはDPT-IPV四種混合ワクチンの接種が行われています。家族等から乳児への感染例も報告されていますので、患者発生のあった管内では十分な注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

